

平成25年度第3回市民ボランティア講座

やってみよう！障がい者スポーツ！ ～スポーツがもっと楽しくなる障がい者スポーツ講座～



車いすラグビー体験

今年度第3回目となる市民ボランティア講座（年4回開催）を11月16日（土）に名寄市立大学を会場に開催しました。

上川北部ボランティア実践者交流会（主催：北海道社会福祉協議会上川地区事務所）との合同開催で行った今回の講座には和寒以北の9市町村から85名の方々に参加いただきました。

午前中は道北地区障がい者スポーツ指導者協議会の皆さんを講師に、障がい者スポーツの歴史についての講話をいただいた後に「やってみよう！車いすラグビー！」と題して、パラリンピックの正式種目である車いすラグビーの体験を行いました。

車いすラグビーチーム「北海道ビッグディッパーズ」の方々のデモンストレーションの後、参加者が実際に専用の車いすを操作し、ぶつかり合うなど競技の醍醐味を体験しました。

午後からはグループ毎に障がい種別の異なる方と一緒に楽しめるオリジナルのスポーツを考案、実践しました。

障がい者スポーツは、近年では障がいや能力、年齢などに問わず誰でも一緒に楽しめる「アダプテッド（適応された）スポーツ」と呼ばれており、例えば下肢障がいの方とバスケットボールをするのは難しいですが、車いすバスケットボールだと、障がいのない人が車いすに座れば同じ条件で楽しめるといったように、ちょっとした工夫をすることで誰でも一緒に楽しめることを実践を通して体験しました。



下肢障がいと両腕切断の方と楽しめるように工夫された卓球を基とした競技



平成25年度第3回市民ボランティア講座（2013.11.16）